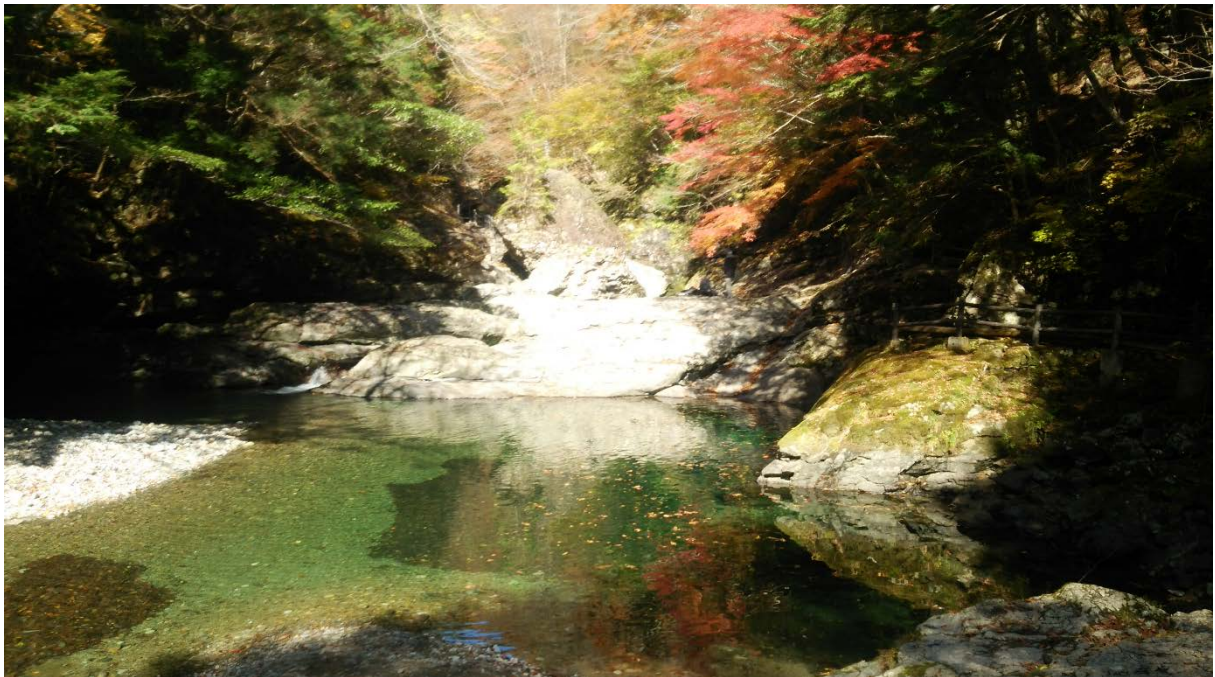


やすらぎ通信

第 84 号（平成 29 年 11 月 1 日） 発行：大阪急性期・総合医療センター

霜月(しもつき)



（奈良県吉野郡天川村 みたらい溪谷）

<目次>

季節を愛でる	・・・P. 1
今月・来月の催し	・・・P. 2
管理栄養士のコーナー	・・・P. 5
今月のきらりさん	・・・P. 6
NEWS	・・・P. 7

掲示板	・・・P. 8
地域の医療機関の皆様へ	・・・P. 10
今月の風景	・・・P. 11
編集後記	・・・P. 12

「飲めるだけのめたるころのおでんかな」 久保田万太郎

11月には茶の湯の正月と言われ、各地で茶会が催されます。立冬を目安に風炉(釜をかけて湯を沸かす道具)をしまい、炉(畳の一部を切って床下に作られたいろり)を開いて火入れをします。また、春に摘まれた新茶を入れておいた茶壺の口を切って使い始めます。これを「口切り」と言います。茶葉は、茶壺の中で夏秋を越すと、芳醇な味わいになるのです。色づく草木を眺めながら、自然の移りを感じつつ心静かに一服いただきたいものです。

「紅葉(もみじ)」は、紅(黄)葉(こうよう)する木々の総称であるとともに、紅葉(こうよう)が見事な楓の異称でもあります。紅葉(もみじ)は、楓以外の木についても使われ、特に紅(黄)葉(こうよう)の美しい木は、下に「紅葉(もみじ)」、「黄葉(もみじ)」をつけて言表します。漆紅葉(うるしもみじ)、樺紅葉(はぜもみじ)、銀杏黄葉(いちょうもみじ)、柿紅葉(かきもみじ)、桜紅葉(さくらもみじ)などです。四季折々の桜の表情を思い起こしてみると、春の満開の桜、清風になびく葉桜と移り行き、秋の桜紅葉は、しっとりとした大人の味わいを感じます。一方、葉が黄色になって落ちることを黄落(こうらく)と言いますが、銀杏、ケヤキ、クヌギなどの樹種です。数年前、京都の大原を散策しておりました折、薄暗い林の中に差し込んだ一筋の光が銀杏黄葉を照らし、金色に輝きながら舞い落ちる素晴らしい黄落を見ることが出来ました。大阪にも紅(黄)葉の名所がたくさんあります。小春日和には是非出かけてみたいものです。

温かい食べ物が恋しくなるこの季節、「おでん」がコンビニにもお目見えします。俳句では、「おでん」はこの季節の季語として使われます。「おでん」という名称は、起源である煮込み田楽の略称なのだそうです。大根、ゆで卵、ちくわ、こんにゃく、スジ、はんぺんなど、だしのしみ込んだおでんは気持ちをほっとさせてくれます。今や若者たちにも大人気です。冒頭の俳句は、健康診断で血糖値が上がり、お酒の量を控えている酒好きの方々には、共感を呼ぶ俳句だそうですが、おでんは、お酒のあてでなくても美味しくいただけますので、家族や仲間と気軽に味わいたいものです。

この季節に思い出すお菓子と言えば、亥の子餅と千歳飴でしょうか。お菓子が食べられるという不純な動機でお茶のお稽古に通っていた私は、亥の子餅も大好きでした。亥の子餅は、旧東能勢村(現在の豊能町)の人たちが毎年亥の月(旧暦10月、現在の11月)、亥の日に万病予防と子孫繁栄を願い、弥生時代から明治初期にかけての長きにわたり宮中の求めに応じて献上されてきました。もう直ぐ七五三です。これまでもいくつかご紹介してきましたが、今ほど、医療が整っていなかった時代には、子どもの健やかな成長を願う行事がいくつも生まれています。おめかしした子ども達の可愛い姿は、わが子でなくとも目を細めてしまいますね。



今月・来月の催し

【第 25 回 病院ギャラリー企画展 『日本の風景写真展』】

開催期間 9 月 18 日（月）～12 月 15 日（金）

展示場所 本館 2 階 病院ギャラリー

展示作品 写真：25 作品

本企画展は、大阪府立江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施しています。



【第 50 回 万代・夢寄席「旭堂小南陵 秋の講談会」】

日 時 11 月 8 日（水） 午後 2 時～3 時

場 所 本館 3 階 講堂

出 演 旭堂 小南陵 氏

入場料 無料



【すこやかセミナー「放射線治療の今とこれから」】

日 時 11 月 9 日（木） 午後 2 時～3 時

場 所 本館 3 階 講堂

講 師 放射線治療科医師 玉木 伸幸

参加費 無料



【第 10 回 リウマチ教室】

日 時 11 月 21 日（火） 午後 2 時～4 時

場 所 本館 3 階 講堂

内 容 知ってほしい！関節リウマチのあれこれ
～リウマチ性疾患との違いってなに？～

免疫リウマチ科診療主任 細川 貴司

関節リウマチと上手につきあうために ～日常生活の留意点～

外来看護師 土田 愛

参加費 無料



【すこやかセミナー「肺がんの外科治療～胸腔鏡手術～」】

日 時 11 月 24 日（金） 午前 11 時～12 時

場 所 本館 3 階 講堂

講 師 呼吸器外科主任部長 船越 康信

参加費 無料



【相愛大学連携 第4回 糖尿病フェスタ「糖尿病！ファースト！！」】

医師や看護師、栄養士による相談ブースや、クイズや体操、血糖測定等の様々なコーナーがあり、スタンプラリー参加者には記念品を用意しております。

日 時 11月25日（土） 午後1時30分～4時（午後1時受付開始）

場 所 本館3階 講堂

参加費 無料



【府民公開講座「お教えします、『がん』のこと」】

日 時 12月9日（土） 午後1時30分～3時（午後1時開場）

場 所 本館3階 講堂

内 容 肝臓がんにならないために、なったらどうする？

消化器内科医長 俵 誠一

私が大腸がん！？－大事に至らないための3箇条。

消化器内科医長 井上 拓也

膵がんって、どんな病気？

消化器内科部長 石井 修二

参加費 無料

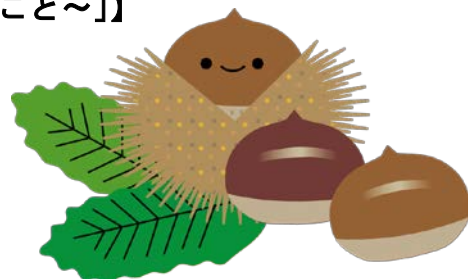
【すこやかセミナー「麻酔のはなし～ちょっと聞きたかったこと～」】

日 時 12月14日（木） 午後2時～3時

場 所 本館3階 講堂

講 師 麻酔科部長 稲森 紀子

参加費 無料



【相愛大学連携 第76回 外来糖尿病教室

知って得する！糖尿病との付き合い方】

日 時 12月19日（火） 午後2時～3時

場 所 本館1階 アトリウム

内 容 ～医者は「○○してほしい」と思っています～

糖尿病内分泌内科副部長 藤木 典隆

検尿のおはなし

臨床検査技師 谷 恵理子

年末年始の乗り越え方

管理栄養士 笠井 香織

参加費 無料

【第 11 回 脳卒中教室 ～脳卒中は予防できる～】

日 時 12 月 20 日（水） 午後 2 時～4 時

場 所 本館 3 階 講堂

内 容 脳梗塞について

脳梗塞の治療

日常生活の注意点

リハビリテーションについて

正しい薬の飲み方

栄養について

神経内科医師

脳神経外科医師

8 階東病棟看護師

リハビリテーション科作業療法士

薬剤師

管理栄養士

参加費 無料

【第 57 回 相愛大学連携コンサート「ピアノ」】

日 時 12 月 21 日（木） 午後 2 時～3 時

場 所 本館 3 階 講堂

出 演 高御堂 なみ佳 氏

入場料 無料



管理栄養士のコーナー

～ちょっとおいしい話～

秋の味覚「きのこ」を使った1品を紹介します。

食物繊維たっぷりのため、たくさん食べても低エネルギーです。

《材料》	(1人分)	
鶏もも肉	60	g
えのき	10	g
しめじ	10	g
エリンギ	10	g
酒	小さじ1	杯
しょうが	3	g 程度
にんにく	半かけ	
醤油	小さじ1	杯
みりん	小さじ1	杯
黒こしょう	適量	



(1人分) エネルギー：158kcal たんぱく質：11.5g 食塩相当量：0.9g

- ① 鶏肉を一口大に切り、すりおろしたしょうがとにんにく、酒を揉み込んでおく。
- ② きのこと類は食べやすい大きさに割く。
- ③ 熱したフライパンで、鶏肉を皮を下にして焼く。焦げ目がついたらひっくり返し、きのこを加えて火が通るまで蒸し焼きにする。
- ④ 火が通ったら、醤油とみりん味付けする。
- ⑤ お皿に盛りつけて、黒こしょうをかける。

★きのこの量や種類はお好みで変えてください。

マイタケやしいたけなど、いろいろな種類のきのこが出回りおいしい時期です。

ただし、調味料まで増やすとエネルギー・塩分も増えるので注意してください。

★お好みで、しょうがやにんにくの量は加減してください。焼くときにスライスにんにくを足してもおいしいですよ。

★味付けをポン酢に変えるとさっぱり食べられます。使用量を抑えれば減塩にもなります。



管理栄養士 笠井 香織

今月のきりりさん

自分の持ち味を生かした看護、すなわち“きらりと光る看護”を行っている
当センターの看護師を紹介させていただくコーナーです。

中央手術室及び中央滅菌材料室 今西 美紀看護師長

私は、中央手術室と中央滅菌材料室の師長をしています。

当センターでは、全 34 診療科の中、16 診療科の手術に対応しており、昨年度の手術件数は 8,262 件で、年々増加傾向にあります。平成 30 年 4 月に開設予定の「大阪府市共同住吉母子医療センター(仮称)」の 3 階に手術室が増室されることになっています。

手術を受けられる患者さんは、生後数日の赤ちゃんからご高齢の方までおられます。年齢にかかわらず、患者さんやご家族は不安を持たれて手術室に来られます。私たちはそんな患者さんやご家族に対して、手術前に病室に伺い、手術に対する思いや不安、心配されていることや病状などを聞かせていただき、不安なことわからないことなどを説明させていただいています。また、手術当日は、リラックスしていただけるように、受付や手術室に音楽を流し、声をかけさせていただいています。手術中はクッションやマットを使用して楽な姿勢がとれるよう、圧迫などで皮膚を傷つけないように工夫しています。

手術室看護師は、患者さんが入院されて手術などの治療を受け、退院されるという過程に接することができません。手術という治療の通過点にかかわるだけですが、とても重要な通過点に関わることができることを誇りにがんばっています。



【ハイブリッドER（救急初療室）導入による重症外傷の死亡率改善について】

この度、大阪急性期・総合医療センターでは表題の件につき、学術雑誌 Annals of Surgery 誌に論文受理されました。同誌は、米国外科学会の公式機関誌であり、世界でもっとも頻繁に参照・引用されている外科学雑誌です。

わが国において、交通事故や労働災害などのケガ（外傷）による死亡は、若年者の死亡原因の第一位です。近年、ドクターヘリなどの病院前救護体制の整備や外傷診療の標準化により『防ぎ得た外傷死（Preventable Trauma Death）』は低下傾向にはありますが、依然として多くの重篤な外傷患者が亡くなっている現状があります。

重篤な外傷患者の約9割が出血死とされ、いかに『早く』『的確な』止血治療を行うことができるか？という点が外傷診療の肝となります。的確に出血部位を同定するためのCT検査、そして血管造影によるカテーテル治療や開腹開胸手術などの外科的治療が必須です。しかしながら、従来型の外傷センターでは、救急車から搬入される初療室（ER）、CT検査室、血管造影室、手術室、がそれぞれ別々の離れた場所に位置するのが一般的でした。そのため、その移動に多くの時間がかかってしまうことが、一刻一秒を争う外傷診療の現場において克服すべき大きな課題でした。

大阪急性期・総合医療センター 高度救命救急センターは、重篤な外傷患者の救命に必要な全ての『検査』と『治療』を、速やかに行うことができる『ハイブリッドER』を開発し、世界で初めて2011年8月から運用を開始しました。これは、従来型の外傷センターではそれぞれ距離的に離れた場所に位置する初療室（ER）・診断のためのCT検査室・止血治療のための血管造影室および手術室、を一つの外傷初療室（ハイブリッドER室）に集約したものです（写真）。



今回受理されました学術論文では、ハイブリッドER導入前後の8年間の外傷診療成績を比較検討することにより、その有用性を評価しました。ハイブリッドER導入によりCT検査までの時間は26分から11分、緊急止血処置までの時間は68分から47分、と劇的に短縮することに成功しました。その結果、これまで救命困難とされた重篤な外傷患者のうち、3人に1人が救命できるようになりました。特に、出血が原因で死亡する患者数は、従来のおおむね半分に抑えることができました。ここ最近、日本全国で普及しつつある『ハイブリッドER』の有用性について学術的に評価した初めての報告になります。

高度救命救急センター長 藤見 聡

掲示板

【公共交通機関ご利用のお願い】

大阪府市共同住吉母子医療センター（仮称）の建設工事に伴い、南側平面駐車場を閉鎖し、中央館南側の立体駐車場及び北側駐車場をご利用いただいております。

駐車スペースが限られるため、入庫するまでに時間がかかる場合があります。

大変ご不便をおかけいたしますが、来院の際には余裕をもってお越しいただくか、公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/access.html>

【ボランティア活動のお知らせ】

当センターでは、採血室受付や図書コーナー、入院時の病棟への案内、看護学生のボランティアやクリニクラウンの訪問を受け入れるとともに、リハビリ病棟の長期入院患者さんを対象に、ハンドマッサージ（大阪府鍼灸マッサージ師会の協力）や理髪ボランティア（近隣理髪店の協力）、ピアサポートを実施しています。また、看護学生や保育学生が話し相手や遊び相手のボランティアをしています。

これらの活動状況は、当センターホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。また、ボランティアを随時募集していますので、お問い合わせください。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/recruit/10.html>

【「医療相談」コールセンターのご利用を ～地域医療連携センター～】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談に、看護師が電話で応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号	06-6692-2800	（専用電話回線）
	06-6692-2801	（専用電話回線）
相談日時	月曜日～金曜日	午前9時～午後5時
	（年末年始、土・日・祝日除く）	
相談対象	医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等	
相談員	看護師	

【診察予約変更センター 9診療科において

診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意くださいようお願いいたします。

電話番号 06-6692-1201 (代表) にダイヤルして
「予約変更センター」と言ってください。
受付時間 午後3時～午後5時(平日のみ)
対象診療科 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病内分泌内科
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科 神経内科
脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の

概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターでは、入退院センターにおきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用、医療・福祉相談コーナーなどでCT、MRI、RI、エコー検査など検査の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。引き落としの手数料は不要です。是非ご利用ください。

なお、一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターでは、公式 Facebook ページを開設しております。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) <https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter>

※スマートフォンでご覧になる場合は、右のQRコードをご利用ください。



【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪急性期・総合医療センター」にて可能です。

地域の医療機関の皆様へ

【神経内科の診療のご案内】

神経内科疾患は急性疾患から神経難病まで多岐にわたり、またその病期によっても全く異なる医療介入が必要です。このため多くの病院の神経内科では、すべての神経内科分野をカバーすることは困難です。このような状況の中、当科は**すべての脳・神経・筋疾患、すべての病期を対象にした診療**を行っております。

救急診療

SCU12床を有し、脳外科と共同で血栓溶解療法やカテーテルによる血栓回収療法などの超急性期治療を積極的に行っています。院内連携も充実しており、他病院では対応困難である透析や他の様々な身体的合併症を有する脳卒中患者も受け入れています。また脳炎やけいれん、ギラン・バレー症候群など他病院では対応困難な神経系救急疾患の受け入れも積極的に行っています。これらの神経救急は、ともすれば救急搬送時に搬送先が決まらないことがあり、当センター・当科が果たす役割は大きいと考えています。

難病医療

当センターは大阪府下唯一の難病拠点病院でもあります。神経難病については、パーキンソン病をはじめ筋萎縮性側索硬化症や多系統萎縮症、ハンチントン病、筋ジストロフィー等に対しても診断確定にとどまらず、その後も末期にいたるまでの長期的な医療を継続提供しています。大阪難病医療情報センターも併設されており、難病患者の医療相談、就労支援、遺伝相談や府下の神経難病医療ネットワーク検討会の開催など多角的な難病支援を行っています。

トピックス

- ・ 本年1月から4月にかけて多少の人事異動があり、スタッフがかなり若返りました。現在のスタッフ5名すべて30～40歳代です。
- 脳卒中関連では『日本脳神経血管内治療学会専門医』も加わり、より充実した診療内容となっております。
- ボツリヌス治療外来を拡充し、平成26年は延で151人が受療されました。薬剤量ベースでは大阪府下で4位の使用量です。

お願い

神経内科外来は初診、再診ともに予約制です。3診体制で、1診は初診/再診の両方を、他の2診は再診のみを行っております。初診予約制を採用している理由は、神経疾患患者の特殊性、すなわち運動器障害を有する患者が多く介助者同伴による来院が多いこと、また、病歴聴取や神経学的診察にかなりの時間を要すること等によります。予約なしで来院された患者も、予約患者診察の合間に診察いたしますが、待ち時間が長くなる場合がありますので、ご紹介いただく際は是非とも予約いただくようお願い致します。

神経内科 部長 深田 慶

【病診連携研修会～消化器外科ネットワーク～のお知らせ】

日 時 11月2日(木) 午後6時20分～8時30分

場 所 天王寺都ホテル 6階「吉野の間」

プログラム

○一般講演

講演1 「消化器外科の歩み—新棟 open を見据えて—」

消化器外科主任部長 藤谷 和正

講演2 「肝胆膵外科医が考える地域医療貢献」

消化器外科部長 柏崎 正樹

○特別講演

「臨床医にとって大事ながん研究」

大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学 教授 森 正樹 先生

今月の風景



【コメント】

北西フランス ノルマンディー地方にあるモン・サン・ミッシェルです。訪れたときは干潮時で干潟が広がっていましたが、満潮時にはモン・サン・ミッシェルは陸と完全に切り離された島となります。司教オベールが、大天使ミカエルのお告げにより建立したのが始まりで、要塞や牢獄として使われた歴史もありますが、現在は修道院として使われています。

(中尾 彩 氏 撮影「モン・サン・ミッシェル」(撮影地：フランス))

編集後記

紅葉の季節ですね。表紙の写真のみたらい溪谷のように雄大な自然の中で楽しむ紅葉も良いですし、京都の南禅寺や永観堂のように神社仏閣とともに楽しむ紅葉も趣があります。ライトアップされた紅葉も綺麗ですので、今年も見頃が楽しみです。

<お願い>

読者の皆様からも、今後の表紙と「今月の風景」を飾る写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただける方は下記宛先までお送りください。

【宛先】 kyuseisogo@opho.jp

【注意事項】

- ・投稿写真はご自分で撮影したオリジナルの作品に限ります。
- ・タイトル、撮影日時、場所についてのコメントをメール本文に記載ください。
- ・作品は著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限ります。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。